

「高大接続システム改革会議」の公開に関する規則（案）

平成 2 7 年 月 日

高大接続システム改革会議決定

「高大接続システム改革会議」設置要項（平成 2 7 年 2 月 2 4 日生涯学習政策局長・初等中等教育局長・高等教育局長決定）6.（2）の規定に基づき、高大接続システム改革会議（以下「改革会議」という。）の会議の公開に関する規則を次のように定める。

（会議の公開）

第 1 条 改革会議の会議は、座長が、公開することにより公平かつ中立な審議に著しい支障を及ぼすおそれがあると認める場合その他正当な理由があると認める場合を除き、公開して行う。

（会議の傍聴）

第 2 条 改革会議の会議を傍聴しようとする者は、あらかじめ、文部科学省高大接続改革プロジェクトチーム（この条において「事務局」という。）の定める手続により登録を受けなければならない。

2 前項の登録を受けた者（この条において「登録傍聴人」という。）は、座長の許可を受けて、会議を撮影し、録画し、又は録音することができる。

3 会議の撮影、録画又は録音を希望する者は、傍聴登録時に登録することとし、会議の撮影、録画又は録音は、次に掲げるところによるものとする。

一 会議の撮影、録画、録音に際しては、会議の進行の妨げとならないよう、座長又は事務局の指示に従うものとする。

二 スチルカメラ及びビデオカメラによる撮影等は、事務局の指定する位置から行うものとする。

4 座長は、登録傍聴人が会議の進行を妨げていると判断した場合には、退席を求める等の必要な措置をとることができることとする。

（会議資料の公開）

第 3 条 座長は、改革会議の会議において配布した資料を公開しなければならない。ただし、座長は、公開することにより公平かつ中立な審議に著しい支障を及ぼすおそれがあ

ると認めるときその他正当な理由があると認めるときは、会議資料の全部又は一部を非公開とすることができる。

(議事録の公開)

第4条 座長は、改革会議の会議の議事録を作成し、これを公開しなければならない。ただし、座長は、公開することにより公平かつ中立な審議に著しい支障を及ぼすおそれがあると認めるときその他正当な理由があると認めるときは、議事録の全部又は一部を非公開とすることができる。

2 前項の規定により議事録の全部又は一部を非公開とする場合には、座長は非公開とした部分について議事要旨を作成し、これを公開するものとする。

附 則

この規則は、改革会議の決定の日（平成27年 月 日）から施行する。